

1 PLAN(目的・概要)

政策名	環境にやさしく、夢・うるおい・にぎわいのある親しまれる港づくり		30年度事業・施策評価結果		責任者 建設部 事業推進課長
施策名	うるおいと魅力のある港湾空間の形成		成果	コスト	
事務事業名	中川運河緑地(堀止地区)整備事業				連絡先 052-654-7921
目的	対象(誰・何を)	中川運河(堀止地区)			事業期間 平成20~令和3年度
	意図(どうい う状態にしたいか)	人びとが港の雰囲気を楽しむことのできる水辺空間を整備し、地域環境の向上を図ります。			
概要	整備場所:名古屋市中川区運河町、中村区運河町 内容・規模:「親しまれるみなと」を実現するため、市街地の貴重な水辺空間に緑地を整備します。用地を造成し、水辺周辺一帯を緑地(1.1ha)として整備(用地・護岸、緑地)します。 全体事業費:12億円(平成23年度より11億円から変更) 事業手法:防災・安全交付金事業				根拠法令等 名古屋港港湾計画 中川運河再開発基本計画 中川運河再生計画
令和元年度の実施予定	水辺一体の緑地整備として、既設構造物撤去、整地等を行います。				実施義務 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
					関連シート

2 DO(実施)

令和元年度に実施した内容・結果	水辺一体の緑地整備として、既設構造物撤去、整地等を行いました。					
コスト	単位	29年度	30年度	元年度	合計	備考(費用の増減理由等) 平成20年度以降:919,272千円
事業費	千円	0	20,000	13,113	33,113	
人件費	千円	4,319	4,333	1,651	10,303	
合計	千円	4,319	24,333	14,764	43,416	

3 CHECK(検証)

成果目標名		29年度	30年度	元年度	最終目標	3	成果目標の説明・目標値の考え方	外部要因
整備面積(ha)	目標			0.84		1.1	整備面積は、事業費による換算数量です。	周辺地区再開発
	実績	0.82	0.83	0.84				
(進行管理型)	事業進捗状況(元年度)			順調 やや遅れ・遅れ				
	目標							
	実績							
	事業進捗状況(元年度)			順調・やや遅れ・遅れ				
目標の達成度に対する評価(外部要因等を踏まえた)	ささしまライブ24地区の土地区画整理事業等と一体的な整備を進めており、堀止西側の緑地については、平成29年4月1日に供用を開始し、予定通り順調に進捗しております。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性 本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か? 事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	<input type="radio"/>	堀止に隣接するささしまライブ24地区の土地区画整理事業等と連携して地元のニーズを取り込みながら整備を進めています。						
有効性 事務事業の目的は、施策達成に貢献するか? 期待どおりの成果が得られているか?	<input type="radio"/>	平成29年4月1日から緑地の一部を供用開始しており、人びとが港の雰囲気を味わうことのできる水辺空間を整備し、地域環境の向上を図ることは、上位施策である「うるおいと魅力ある港湾空間の形成」に貢献すると考えております。本事業の進捗状況としては、順調に進んでおります。						
効率性 最小のコストとなっているか?	<input type="radio"/>	堀止に隣接するささしまライブ24地区の土地区画整理事業等と連携して効率的に整備を進め、コスト削減に努めています。						

4 ACTION(取組)

施策評価結果	2年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
延伸	維持	維持	名古屋市の土地区画整理事業の事業期間の延伸に伴い、事業完了年度を延伸する必要があるため。 ※今回の評価にて事業完了年度を延伸(令和3年度→令和4年度)
	取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。		
課題		2年度以降の取組	
中川運河緑地(堀止地区)については、事業期間を延伸するとともに、名古屋市関連事業と調整を図りながら一体的な緑地整備を進める必要があります。			名古屋市関連事業と連携して、引き続き、親水緑地の整備を進めていきます。